

がん保険を考える

◆がん保険を考える

STEP4 保険は儲けるものじゃない

○がん保険は入るべき？

がん保険も基本的には、医療保険と同じ考え方。

高額療養費制度が使えるし、
生活防衛費があれば、あんしん度も高まる。

がん治療の何が心配かということ
「治療が長期化する」ということ



◆がん保険を考える

STEP4 保険は儲けるものじゃない

○がん保険は入るべき？

例えば抗がん剤治療に1年間、毎月5万円かかったとします。
5万円×12ヵ月=60万円

これは家計によっては、厳しい支出になります。



◆がん保険を考える

STEP4 保険は儲けるものじゃない

○がん保険は入るべき？

高額療養費制度が活用できても
それが長期化することで支出が増加します。

それに備えてがん保険に加入する方は多いです。



◆がん保険を考える

STEP4 保険は儲けるものじゃない

がん保険の種類

主に3種類あります。

- ①全額補償タイプ
- ②診断一時金タイプ
- ③治療給付金タイプ

この組み合わせタイプもあります。

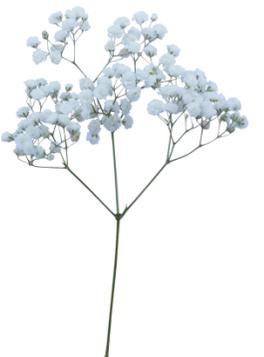


◆がん保険を考える

STEP4 保険は儲けるものじゃない

①全額補償タイプ

- ・がん家系でがんの治療費に心配が大きい方向け
- ・がんにかかった治療費が全額出るので治療費の心配が0になります。
- ・このタイプで特に注目したいのは「先進医療」・「自由診療」も全額保険金がおりにること



◆がん保険を考える

STEP4 保険は儲けるものじゃない

①全額補償タイプ

- 「先進医療」は医療保険の章で復習！
- 「自由診療」とは、医療保険制度を用いない診療のこと。
厚生労働省が承認していない治療や薬を使うと自由診療となる。

公的医療保険を使用せずに治療を受けるため、
全額が患者負担（10割負担）となります。



◆がん保険を考える

STEP4 保険は儲けるものじゃない

①全額補償タイプ

数百万円という治療費がかかっても安心なのがこの保険もメリット。

セコム損保、SBI損保が取り扱っています。

- ・セコム損保は保険ショップで窓口加入可能。
- ・SBI損保はネット申込のみ。



◆がん保険を考える

STEP4 保険は儲けるものじゃない

①全額補償タイプ

デメリットは5年に1回ずつ

支払保険料が上がっていくこと！

それでもがん治療にかかる金銭的な心配はなくなります。



◆がん保険を考える

②診断一時金タイプ

「がん」と診断されたら保険金がおりるタイプ。

がん治療費だけでなく、

- ・会社欠勤による収入減少
- ・ウィッグ代
- ・交通費

などにも充てられます。保険金の用途は自由。



◆がん保険を考える

②診断一時金タイプ

すでにこのタイプで備えている方が多いのですが...

こんな保険になってない！？



- 1回受け取ったら保険が消滅する (再発に備えられないぞ！)
- 2年に1回しか受け取れない (1年に1回受け取れた方がいい！)
- 入院しないと受け取れない (今のがん治療は通院メインだぞ！)



◆がん保険を考える

②診断一時金タイプ

このタイプに加入する場合は

- ・再発時も受け取れること（1回受け取って終わりじゃない）
- ・1年ごとに受け取れる権利があること
- ・「入院」が条件になっていないこと
（特に2回目以降の受け取り）

この条件で保険屋さんに商品選定を依頼しましょう！



◆がん保険を考える

②診断一時金タイプ

大手保険会社のがん保障は
数年に1回保険料が上がりますが、

他の保険会社は**保険料は変わらないタイプ**が一般的です。



◆がん保険を考える

③治療給付金タイプ

治療を受けた月ごとに〇万円もらえるタイプ。

手術・抗がん剤治療・放射線治療に備えることができる。

⇒手術と放射線治療...

これが医療保険に備えられてるケースが多いので、
医療保険と重複するようなら①か②がいいかも・・・



◆がん保険を考える

治療が長期化して収入がなくなる！？

がん治療は抗がん剤治療などで
身体がつらくなるので、会社を休むこともあると思います。

そんなときは「**傷病手当金**」があることを忘れないでください。
そして、「**生活防衛費**」を使うタイミングです！

※「**傷病手当金**」「**生活防衛費**」は「**医療保険**」の章で復習。



◆がん保険を考える

条件を自分で組むのが難しいです・・・
本当にこれでいいのかな・・・

こんな方は「保険の章」のコンテンツを全て見終わってから

死亡保障や医療保険、貯蓄型保険も合わせて
保険見直しの面談をしましょう！

